



令和7年12月1日

天沼保育園

看護師

早いもので今年最後の月となりました。いよいよ本格的な寒さがやってくるのでしょうか。インフルエンザの流行が例年に比べて早くにやってきてしまい、予防接種が間に合わなかった方も多かったようです。楽しくて、忙しい年末年始を健康で過ごせるように、体調を整えていきたいですね。

11月の様子

- 10月の初めには1回目のインフルエンザA型の流行があり、いるか組では1日14名が発熱でお休みという日もありました。あそぼう会も無事に終わり小康状態になっていましたが、11/10頃から徐々に増え始めてきました。症状も様々で最初から高熱が出た方もいれば、微熱で受診して検査をしたらインフルエンザだったという方、咳がひどい方、嘔吐した方と症状は様々出ているようです。受診のタイミングは難しいのですが、熱が出始めてすぐよりも数時間経ってから検査をした方が検査の精度は高くなっているため午前中の発熱であれば、午後の診察をお勧めします（とはいえ、最近はインフルエンザ迅速検査の精度が高いものも使用されており、その場合は感染後早くであっても正確な結果が出るそうです。早く検査をしていただきたい場合には医療機関へお問い合わせしてから受診なさると良いと思います。）
- 9月の終わりから始まったマイコプラズマ感染症は、最後に診断されたお子さんから3週間以上経過しても、新たに診断された方がいらっしゃらなくなりましたので、一旦終息した様子です。しかし、マイコプラズマは潜伏期間が2～3週間と長く、最初は軽い咳から始まり数日経つと咳がひどくなるのではっきりと診断されるのが遅くなることや、ご家族で感染されている方がいらっしゃる状況があったりするので、まだまだ予断を許さない状況と考えております。引き続き、お子さんの症状の観察を続けていただき、熱がなくても咳が長引きどんどんひどくなってくるようなことがあれば受診されることをお勧めします。



ごちそうはひと工夫で楽しんで♪

普段と違うごちそうや大勢で食事をするのはとても楽しいのですが、実は年末年始、誤飲・窒息のリスクが高くなる時期なのです。

お酒の誤飲

透明なのでお水と間違えた。甘いのでジュースのつもりで飲んでしまったなどの事故がおこりやすいです。少量でも急性アルコール中毒になることがありますので、お酒の入ったグラスやおちょこは置いたまま離れることはせずに、少しの間でもお子さんの手の届かない所へ置きましょう。

もちや豆類による窒息

お正月の定番のお雑煮（おもち）や黒豆（豆類）は窒息の危険が高い食べ物です。黒豆は甘くておいしいので子どもは好きですが、柔らかく煮てあってもツルッと誤嚥することがあります。

お餅も黒豆も大人の目のとどく所であげることで、小さい子にあげる時は小さく切ってあげるようにしてください。

急病に備えましょう！

年末年始は医療機関も特別体制となります。

休日診療・救急診療の担当を確認しておきましょう。帰省先・旅行先でも事前に調べておくことで安心です。

受診する時には必ず電話連絡をしてから行くようにしましょう。

また、保険証や医療症も忘れずに旅行先・帰省先に持って行きましょう。



12月の予定

※日程は変更となる場合があります

<身体測定>

8日 くじら組 9日 いるか組 10日 かもめ組 11日 ペんぎん組 12日 らっこ組